

No.	事務事業名	水道使用者の開栓・中止・精算事務			所属部	水道部	
					所属課	管理課	
政策体系	政策名	01	快適で魅力あるまちづくり			課長名	岩下 剛
	施策名	01	生活基盤の充実			所属G(係)	業務G
	基本事業名	03	安全で良質な水の安定供給			電話番号	42-3500

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	水道法

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記)		事業期間	
転入等で新たに霧島市の水道を使用するようになるお客様や、転出等で霧島市の水道を使用しなくなるお客様からの電話等での届出を受付処理し管理する。また、転出・転居の場合はおお客様の指定の日時にメーター検針を行い、使用水量により料金を計算し精算事務を行う。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 17 年度 ~ )	
		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 19年度実績(19年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様		名称 単位 ア 給水装置使用開始届 件 イ 水道料金精算指示書 件 ウ	
20年度計画(20年度に計画している主な活動) 19年度と同様		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 単位 ア 転入者数 人 イ 転出者数 人 ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 水道使用についての異動をするお客様。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 ア 未届使用件数 件 イ 未届転出件数 件 ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 水道使用者等の住所・氏名・転居先等を正確に管理し、水道料金の請求に誤りがないようにし、未届けでの使用・転出がないようにする。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 単位 ア 断水件数 件 イ おいしい水が飲めていると感じている市民の割合 % ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 安全で良質な水の安定供給。			

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)	22年度(見込)	23年度(見込)
投入量	事業内訳	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	1,765	1,799	1,822		
事業費計(A)		千円	1,765	1,799	1,822			
活動指標		ア 件	6,328	5,900	6,000	6,000	6,000	6,000
		イ 件	5,516	5,491	5,500	5,500	5,500	5,500
		ウ						
対象指標		ア 人	6,767	6,680	7,000	6,500	6,500	6,500
		イ 人	6,690	6,906	6,700	6,500	6,500	6,500
		ウ						
成果指標		ア 件	570	531	500	500	500	500
		イ 件	329	326	300	300	300	300
		ウ						
上位成果指標		ア 件	46	76	40	36	32	30
		イ %	62	63.5	62	62	62	62
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
水道事業開始時から行っている水道事業の業務である。 霧島市水道事業としては、平成17年度から開始している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか 転入・転出者数の年度間の変動にバラツキがある。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?特になし。	

事務事業名	水道使用者の開栓・中止・精算事務	所属部	水道部	所属課	管理課
-------	------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 水道使用者等の住所・氏名・請求先等を正確に管理することで、水道料金の請求に誤りがないようにし、精算分までの料金を確実に納めてもらい、未収金が発生しないようにすることにより、水道事業の経営が安定し「安全で良質な水の安定供給」につながる。
	<b>公共関与の妥当性</b> なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 水道事業は、水道法により原則、市町村が行うものとなっており、地方自治体の責務である。本事務は水道事業の経営を行う中で、最も基本となる事務で、営業収益につながるものである。
	<b>対象・意図の妥当性</b> 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 水道使用者を対象としているので妥当である。
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 開始・精算手続きのお知らせを広報等に定期的に掲載することで、お客様への理解を深め、未届の転入・転出を防止する。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 水道使用者の使用開始、停止の管理ができなくなり、水道事業が成り立たない。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない 水道事業は、水道法により原則、市町村が行うものとなっており、類似事業は無く統廃合・連携の可能性は無い。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 水道使用開始は、電算に正確に入力し次回検針より使用料が発生し、精算は嘱託員が検針を行っているため、現時点でこれ以上の事業費を削減する余地は無い。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシング)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 水道使用者等からの、申請による事務であり、精算時の検針は嘱託員が行っているため業務時間の削減の余地は無い。
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 霧島市の水道の使用等に関するものであり、公正・公平である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 届出の必要性を周知徹底する必要がある。
---	---

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 届出の必要性を、定期的に市報及びホームページ等へ掲載する。	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持			低下		
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持																		
	低下																		

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
 特になし。

No.	事務事業名	水質管理事務				所属部	水道部	
						所属課	水道課	
政策体系	政策名	0	1	快適で魅力あるまちづくり			課長名	今吉 近見
	施策名	0	1	生活基盤の充実			所属G(係)	施設G
	基本事業名	0	3	安全で良質な水の安定供給			電話番号	42-3500

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	水道法

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
水道水の安全性と水質基準に適合した水であることを確認するため、水質検査を実施し、安全でかつ良質な水質が確保できるよう管理する。 ・水質検査計画の作成、公表 ・水質検査の実施、結果の管理 ・水質異常の調査、処置対策 ・浄水配水系統管残留塩素検査(毎日)、結果の管理 ・施設、管路更新計画への反映							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 17 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 19年度実績(19年度に行った主な活動) 事務事業概要と同様。		名称 ア 原水の採水箇所 イ 浄水の採水箇所 ウ 給水柱の測定箇所	単位 箇所 箇所 箇所
20年度計画(20年度に計画している主な活動) 検査内容を一部見直し。		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 ア 水源の数 イ 浄水場の数 ウ 給水件数	単位 箇所 施設 件数
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 水道水。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 ア 水質に関する苦情 イ ウ	単位 件 件
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 安全な水質を確保する。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 ア 断水件数 イ おいしい水が飲めていると感じている市民の割合 ウ	単位 件 %
結果(どんな結果に結び付けるのか) 安全で良質な水の安定供給。			

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)	22年度(見込)	23年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	12,791	14,024	18,854		
事業費計(A)	千円	12,791	14,024	18,854				
活動指標	ア 箇所		70	70	64	60	60	60
	イ 箇所		58	59	58	58	58	58
	ウ 箇所		58	58	57	57	57	57
対象指標	ア 箇所		62	62	58	59	60	60
	イ 施設		59	59	57	58	58	58
	ウ 件数		54,482	55,123	55,750	55,833	56,250	56,667
成果指標	ア 件		6	11	8	8	6	6
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア 件		46	76	40	36	32	30
	イ %		62	63.5	62	62	62	62
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 水道法の制定により、水質の検査が義務付けられ実施している。 霧島市水道事業としては、平成17年度から開始している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成16年度に水質に関する大幅な省令の改正がなされ、検査項目の増加・高度な検査が必要となった。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 住民などから、水道水の安全性を確保することをより一層求められている。	

事務事業名	水質管理事務	所属部	水道部	所属課	水道課																					
<b>2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																										
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] ↷																							
	<b>公共関与の妥当性</b> なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] ↷	市が運営している水道事業で供給している水道水であるから、市で水質検査を実施している。																						
	<b>対象・意図の妥当性</b> 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↷	水道水を対象としており、また意図についても、水道水の安全性を確保するものであり妥当である。																						
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] ↷	当該事業単独での向上余地はない。																						
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] ↷	水道事業により供給される水は、水道法の水質基準に合致したものでなければならぬとなっているため、水質検査を廃止した場合安全を確認できないので、水道利用者に対し水道水を供給できなくなる。																						
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ↳ 水道施設維持管理運用事業	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷	<input type="checkbox"/> 連携できない ↷																				
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↷	施設の統合により、小規模水源の廃止等を促進し、対象施設数を減らすことで費用を削減できる。																						
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↷	水質の確保は水道事業の根幹に関わるものであり、検査は専門機関に委託しているが、採水作業は責任ある職員自らが必要最低の人数で行っている。																						
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] ↷	水道事業において、供給する水道水の安全性を維持し、安全性の確認・保証のために全ての地区において検査を実施しており、公平である。また、水質に関する苦情等があった場合は、臨時検査も行っている。																						
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	水源等の切り替えも視野に入れ、安全性及び効率性の向上を図る必要がある。																							
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)																						
<input type="checkbox"/> 目的再設定		<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)																								
<input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携		<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)																								
<改革改善案> 導・送水管の新設により、施設の統合を進め小規模水源を廃止する。 塩素滅菌浄水を基本とする良質な水源を確保し、水源の切り替えを検討する。																										
		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 現状水質の維持であれば、改革改善案におけるコスト維持、成果向上も可能であると考え、水道法による水質の向上、目標値はより細分化・厳密化されてきていて、より高い安全・安心を得るためにはコスト増となり、当然水道利用者の費用負担増を求めることとなるため、水道利用者の理解、合意が必要である。																										